

□議員名：山田伸幸

1 白井市政は社会保障についてどう取り組んできたのか。

論点	白井市政は社会保障についてこの8年間をどう総括しているのか。
回答	合併以降、厳しい財政の元にあっても子どもの医療費負担軽減に取り組み、高齢者については介護保険制度が定着するよう努力をしてきた。今後、国において消社会保障と税の一体改革が進められており安心して生活をしていただくためにも、抜本的な改革を行い、社会保障の分野に重点的に予算を配分していくことが必要であると考える。

論点	国民健康保険料が高すぎて払うことができず滞納している市民が多く、市は保険料を滞納した市民の保険証を取り上げている。命と健康を守る砦として使命を果たしていないのではないのか。
回答	保険料の負担を軽減するために、主治医を持つことやジェネリック医薬品の普及に努めてきた。保険料の滞納が発生した場合、国民健康保険料納付相談通知書や警告書を送付し納付相談をしてきた。相談があれば、対象者の収入状況に応じた分納誓約を結ぶことで、資格証明書の交付に至らない場合もある。

論点	在宅介護を支えていく取り組みが真剣におこなわれてきたと考えているのか。
回答	要介護状態となることを予防し生き生きとした生活のために介護支援ボランティアの活動啓発など介護予防を推進してきた。在宅介護する家族への支援として、家族介護者交流事業など精神的、経済的な負担を軽減など在宅生活の向上を図るための事業を実施してきた。また、認知症サポーター養成講座を開催し、現在市内に1,700名以上の認知症サポーターが誕生している。

論点	総合計画には、在宅介護について記述がないが、在宅介護における問題点というのは、総合計画で記述がないほど、そういうふうに軽く見られているのか。
回答	今後の大きな課題として認識をしている。在宅介護を通して、高齢者が増加していく中で支えていくのかという大きな問題になる。支えていくために具体的には、介護、医療、地域住民などの多様な主体を巻き込んで、社会全体でこの在宅介護を支えていくというような形で進めてまいればというふうに考えている。

2 教育委員会は市民に開かれた教育行政機関と言えるのか。

論点	学校給食センター化をめぐる市教委の対応は、市民の納得を得ていると考えているのか。
回答	パブリックコメントに対する回答がおくれていることをおわびする。市教委の現状については広報の9月1日号と市のホームページで知らせている。センター化にあたっての積算の内容について関係課と協議を行っているところで協議が終了後、市長へ報告し、方針決定のための協議をしたいと考えている。

論点	地域の社会教育施設である公民館の運営が館長は嘱託職員、事務員は臨時職員という身分で良いのか。
回答	公民館は住民の要求や地域課題の解決に対応した主催事業の開催や学びの仕組みづくり等を中心に、社会教育施設という位置づけの中で進めていきたい。運営については館長と臨時の主事2人で運営をしている。